

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ

シドニー赴任を終えて ～これから海外赴任する方々へ～



名古屋市市長室国際交流課長 伊藤 毅

シドニーへの赴任

私はこれまで JICA 専門家として、開発途上国へ短期派遣はあります。今回のように先進国の豪州で 2 年間の赴任は初めてで、赴任直前まで今後の不安と期待が入り混じっていました。その不安が的中したのか、他事務所の次長が予定通り赴任先に出発されていくのに、私のみ入国許可が遅延し、予定より十日遅れてシドニー入りです。赴任前から出鼻を挫かれたようですが、皆さんも海外赴任は、気持ちを大きく持って臨むことが大切です。

海外事務所での心がけ

クリアは全国自治体などの職員が集まり、組織構成されます。そのため、職員間の意思疎通は、出身自治体の組織にも増して、職員一人ひとりが意識的に心がけることが大切です。海外事務所は組織規模も小さく、職員相互に意思疎通を図っていくように心がけることが肝要です。そうすれば、職場に活気が生まれ、全職員が楽しく前向きに、仕事に取り組むことができます。この点を振り返るとシドニー事務所では、素敵な仲間と巡り合い、とても感謝しています。

充実した仕事とその改善

海外業務では企画・立案から意思決定、実行と一連の仕事任せられます。仕事で PDCA サイクルを実践することで、自ら業務改善が把握しやすくなります。充実した仕事を進めながら、業務改善も自ら考えることで、自己能力開発にもつながります。

一方、現地の最新情報を依頼自治体に提供することで、状況や要望に応じた事業へと改善



シドニー市内高校生と街歩き交流する名古屋の高校生（オペラハウスを北側から望む）

できます。私は、名古屋市活動支援の高校生派遣事業において、シドニー市高校生の要望を組み入れた交流内容や市内テーマ別の自由視察を組み込み、名古屋から派遣された高校生に喜ばれました。

新たな関係・仲間づくり

自治体の活動支援などでは、全国の自治体関係者との面識ができます。業務を通して、豪州・NZ の自治体機関などとの新たな関係や自治体職員などとの仲間づくりもできます。海外勤務では、より多くの全国自治体と国際関係者と関係づくりを試みてください。新しい関係や仲間が、近い将来、必ず相互にとって有益な機会を生み出します。また、JETAA 会議などでは、自ら元 JET の方に話しかけ、新たな関係づくりに挑戦してください。

名古屋・シドニー姉妹都市提携 35 周年記念事業にむけて

豪州から名古屋市に帰任し、この 4 月から市長室国際交流課長を拝命され、引き続き、姉妹都市シドニー市と仕事をしています。シドニー赴任時に築いた信頼関係をもとに関係者などと連絡調整しながら、今年 11 月 1 日にシドニー市内で開催する姉妹都市提携 35 周年記念事業「ナゴヤデー」を準備しています。シドニーで多くの仲間との再会を楽しみにしています。



シドニー市議会議員ロベルト・コック氏と 2013 祭シドニー会場にて

プロフィール

- CLAIR での経歴：
2013 年 4 月～2015 年 3 月 シドニー事務所次長
- 趣味：ウォーキング